

## 水稻の生育状況と今後の管理対策（第6号）

令和3年7月21日  
新潟県農林水産部

### 〔7月20日現在の県内全域の生育状況〕

- ◎ コシヒカリの生育は、県全体では指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや長い」、茎数、葉数の進み、葉色はいずれも「並」ですが、草丈、茎数と葉色の地域差、ほ場差が大きくなっています。
- ◎ 新之助の生育は、指標値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数、葉数の進み、葉色はいずれも「並」ですが、草丈、茎数、葉色の地域差、ほ場差が大きくなっています。

### 〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 北陸地域は平年より9日早い、7月14日ごろに梅雨明けしたとみられ、平年より暑い期間が長くなる見通しです。
- ◎ 7月15日発表の1か月予報によると、向こう1か月は平年と同様に晴れの日が多く、平均気温、降水量、日照時間ともにほぼ平年並の見込みですが、23日までの平均気温は平年並か高く、30日までは平年並の見込みとなっています。
- ◎ コシヒカリの出穂期は、現時点では、県平均で平年並の8月4日ごろ、新之助も平年並の8月10日ごろと見込まれます。

### 〔今後の管理対策のポイント〕

#### コシヒカリ

- ◎ 引き続き飽水管理<sup>\*1</sup>を徹底し、根の活力維持と上根の発生促進を図るとともに、地温の上昇を抑えてください。
- ◎ 出穂期10日前をめやすに2回目の穂肥<sup>\*2</sup>を必ず施用してください。
- ◎ 全量基肥<sup>\*3</sup>施肥のほ場で、地域の指標値に比べ葉色の低下が大きい場合には、分施の2回目の穂肥時期をめやすに追肥（追加穂肥）を検討してください。
- ◎ 主要な加害種であるアカスジカスミカメの発生が多くなっています。計画的な防除を確実に実施してください。

#### 新之助

- ◎ 分施体系の1回目の穂肥は、適正粒数（ $m^2$ あたり28,000粒）に誘導するため、地域の農業普及指導センターやJA等の技術情報を参考に、幼穂形成期の草丈と葉色に基づいて適正量の穂肥を確実に施用してください。また、葉色が薄い場合は遅れないよう注意してください。
- ◎ 全量基肥施肥のほ場では、出穂期の葉色が確保できず、出穂後の高温と栄養凋落が予想される場合には、気象やほ場条件等を十分考慮した上で、追肥を検討してください。
- ◎ 葉色が濃いほ場では、いもち病の発生に十分留意し、病斑を確認した場合は速やかに薬剤防除を行ってください。

\*1 飽水管理（ほうすいかんり）：土壌を湿潤状態に保つこと

\*2 穂肥（ほごえ）：穂が出る前に追肥すること

\*3 全量基肥：全生育期間に必要な肥料成分を、田植え前または田植え時に一括して施す施肥法のこと

**早生品種** <早期梅雨明けに対応した特別情報>

- ◎ まもなく出穂期を迎えるほ場も多く、今が最も「水」を必要とする時期となっています。梅雨明け以降、雨が少なく高温が続いていることから、高温障害を回避するためこまめな水管理に努め、令和2年産以上の高品質を目指しましょう。
- ◎ 高温により、カメムシ類の活動が活発になると予想されます。斑点米被害を抑えるため、出穂状況を確認しながら、適期を逃さず防除を実施してください。

**熱中症予防**

- ◎ 梅雨明けが大幅に早まり、厳しい暑さが続きます。農作業時は水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。

- ◎ 今後の管理対策発信予定日 7月27日・30日、8月20日、9月10日

## 〔補足資料〕

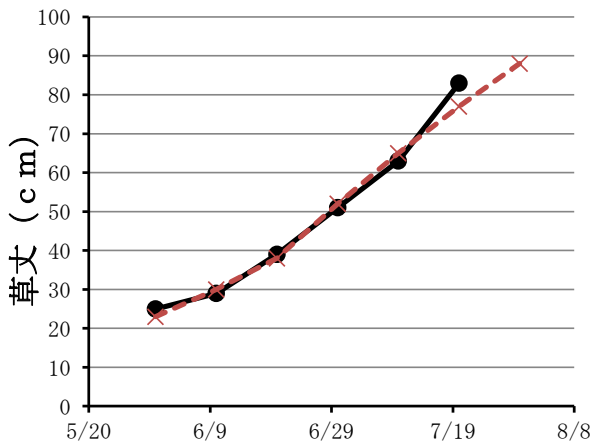
### 1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（7月20日現在）

#### コシヒカリ

○ 指標値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」の状況です。

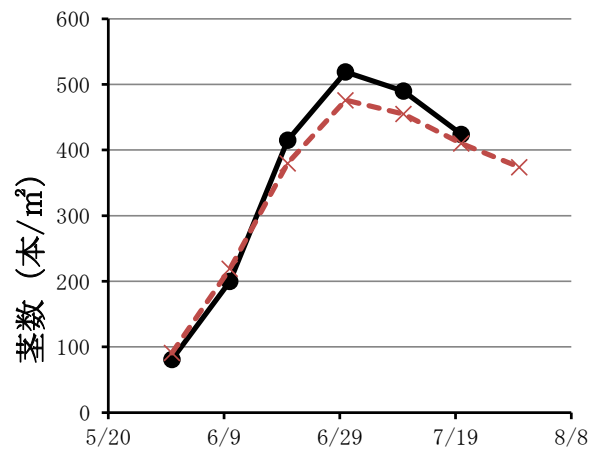
項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	83 cm	77 cm	やや長い	108%
茎数	424 本/m <sup>2</sup>	410 本/m <sup>2</sup>	並	103%
葉数	12.3 葉	12.0 葉	並	+0.3 葉
葉色 (SPAD 値)	33.7	33.3	並	+0.4

注) 県内全域の115生育調査ほデータの平均値（田植え5月10日、栽植密度16.9株/m<sup>2</sup>）



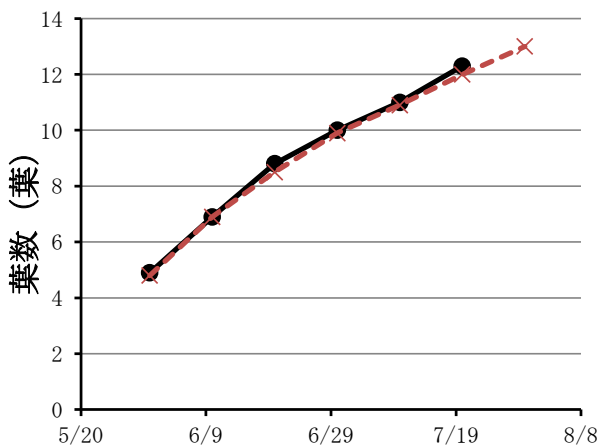
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



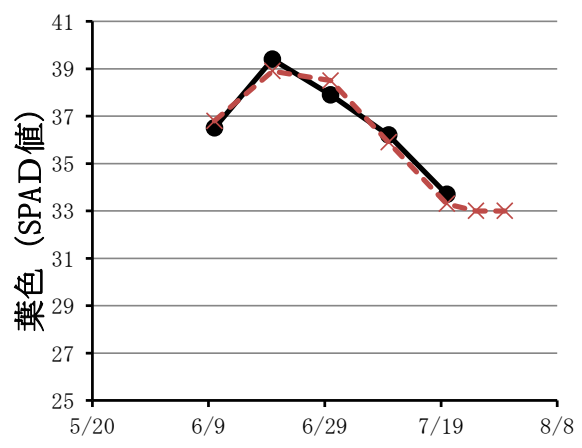
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



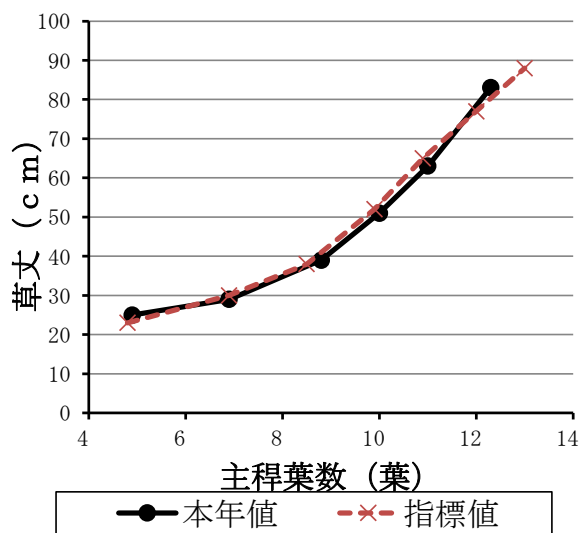
● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)

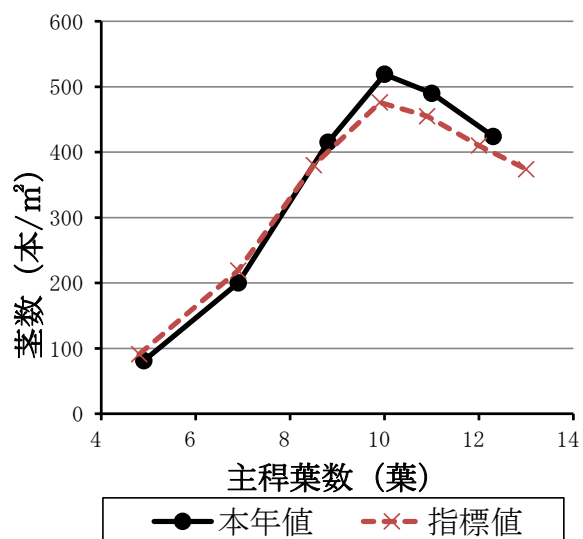


● 本年値    -x- 指標値

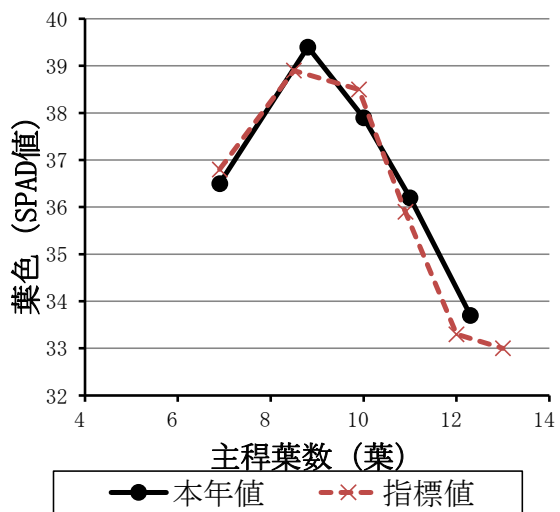
葉色の推移  
(県全体)



葉数と草丈  
(県全体)



葉数と茎数  
(県全体)



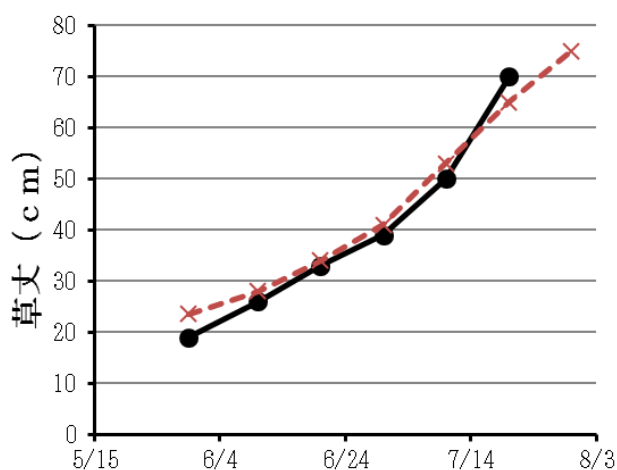
葉数と葉色  
(県全体)

## 新之助

○ 指標値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数、葉数の進み、葉色はいずれも「並」の状況です。

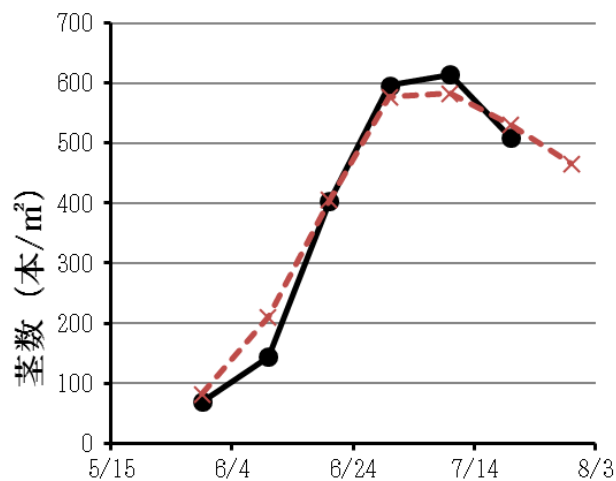
項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	70 cm	65 cm	やや長い	107%
茎数	510 本/m <sup>2</sup>	531 本/m <sup>2</sup>	並	96%
葉数	12.2 葉	12.2 葉	並	±0 葉
葉色 (SPAD 値)	34.3	34.3	並	±0

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値(田植え5月18日、栽植密度16.0株/m<sup>2</sup>)



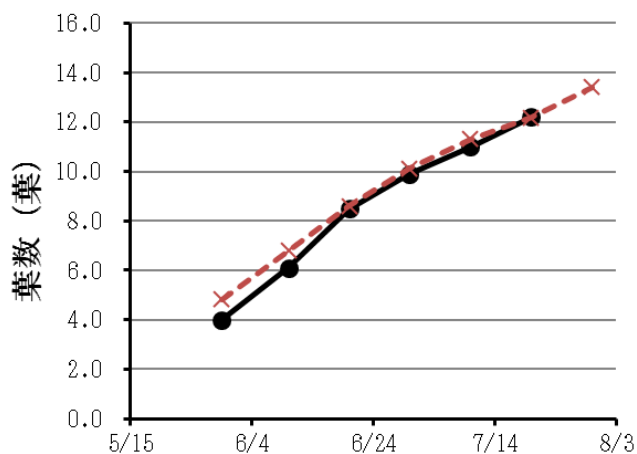
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



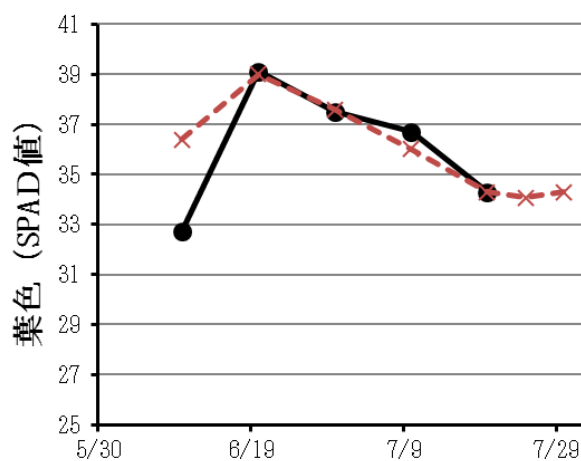
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉色の推移  
(県全体)

## こしいぶき

(参考)

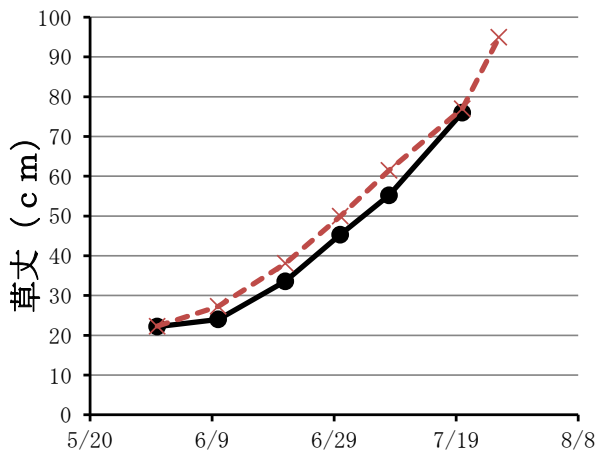
○ 指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」状況です。出穂期は7月30日頃と予想されます。

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	76 cm	77 cm	並	99%
茎数	451 本/m <sup>2</sup>	474 本/m <sup>2</sup>	やや少ない	95%
葉数	12.8 葉	12.7 葉	並	+0.1 葉
葉色 (SPAD 値)	37.7	36.7	やや濃い	+1.0

注1) 化学肥料栽培 田植え5月10日、栽植密度は20.7株/m<sup>2</sup>、幼穂形成期7月8日(平年差+2)

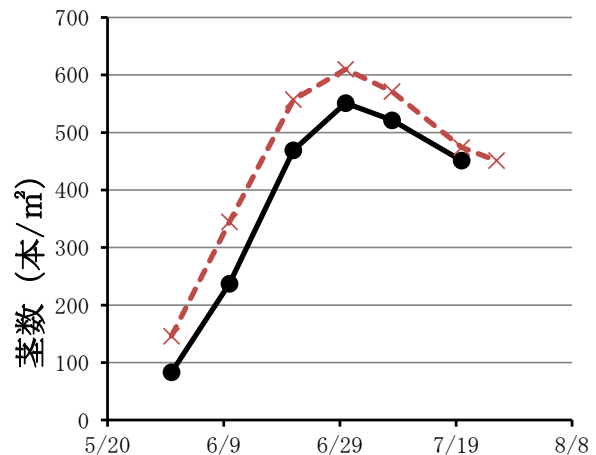
注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a、穂肥窒素成分量2.0kg/10a (1.0kg×2回分施; 7月6日、7月15日)

注3) 長岡市長倉町(作物研究センター)の生育調査ほデータ



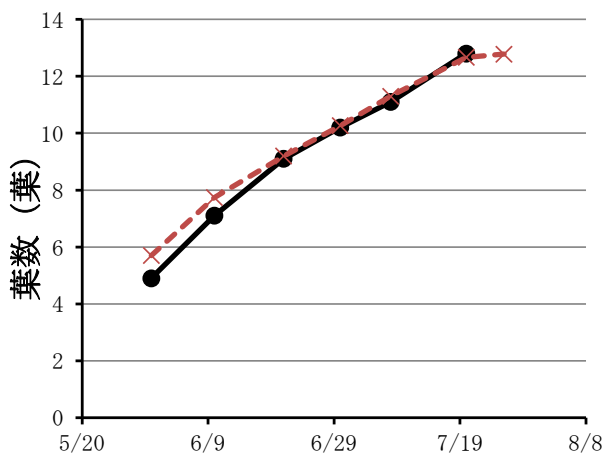
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移



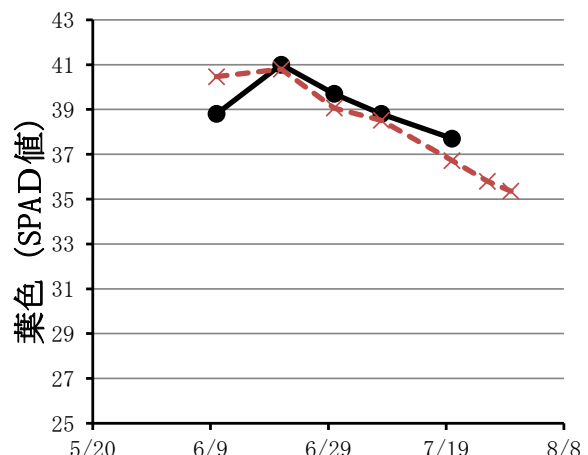
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移

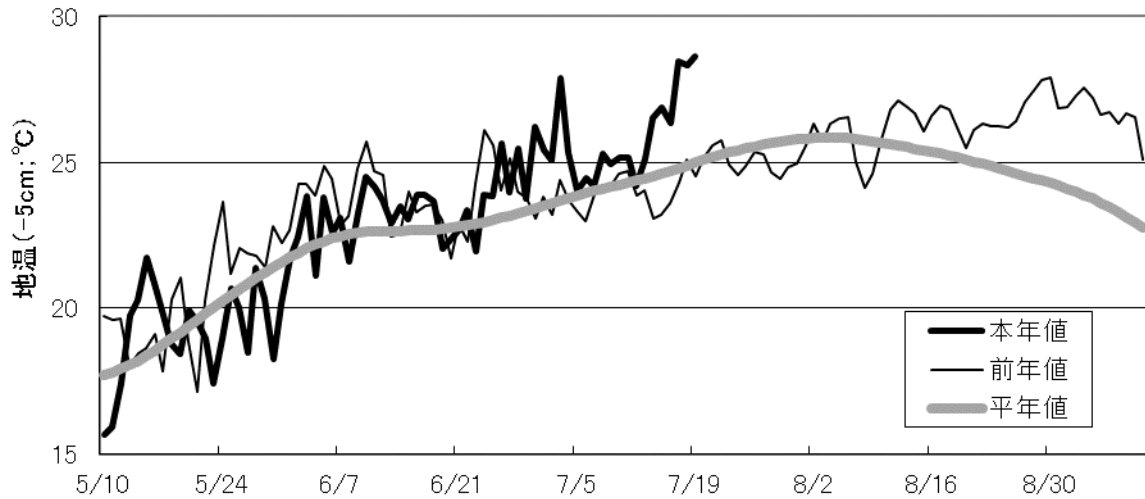


● 本年値    -x- 指標値

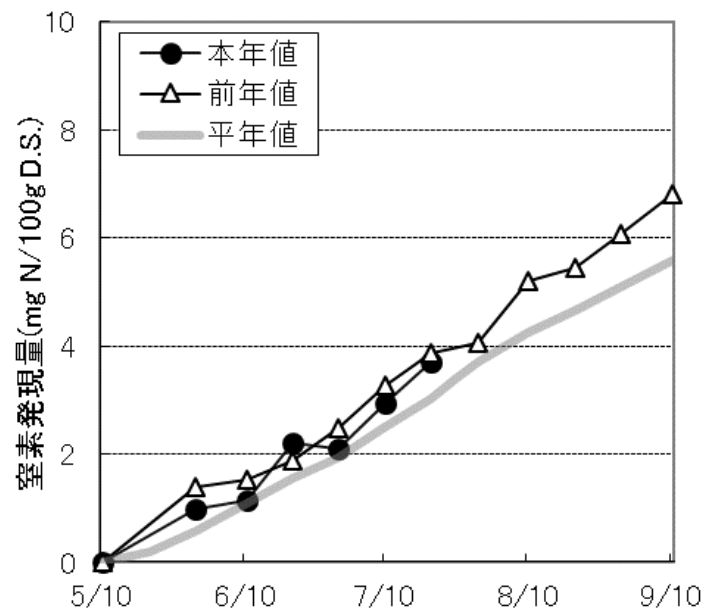
葉色の推移

## 2 ちりよく 地力窒素の発現状況

- 7/8～7/19の期間の日平均地温は平年差+1.7℃で高めでした。地力窒素の発現量は平年よりやや多めでした。



水田地温 (-5cm) の推移  
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)



地力窒素の発現推移(7月19日)

(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)

初期値=0、移植日：5月10日、化学肥料栽培

基肥窒素成分量：3.5 kg/10a